

輸出事業計画

※申請者名：糸川屋製菓(株)、品目：米粉クラッカー

1. 輸出における現状と課題

<現状>

当社は従来の商品である小麦主原料の製品を中国に輸出しているが、他の国への輸出実績はないものの、取引先から米を主原料にしたグルテンフリー製品の開発の提案があり、それを受け、新製品開発に取り組んでいるのが現状。

輸出のターゲットは米国市場としている。その理由として、①人口増加が継続し、経済が成長していること、②可処分所得が高く購買力が旺盛なこと、③一般的な米菓はすでに市場浸透しており、認知度が高いこと、④グルテンフリー等への関心が高いことがある。一般的な米菓はコモディティ化しており、新規参入には、新規性の高い商品開発、投入が課題である。

2. 輸出事業計画の取組内容

○米国市場への新製品輸出事業計画

(1) 仕入・生産分野

課題：三重県産の米を使用するにあたり、弊社独自の生地成型に適した粉の状態を把握した上での選定が課題。

取組：米粉の条件を色々変えて、テストを行うことで解決する。

(2) 加工・製品開発分野

課題：サクッとした触感をバイヤーから求められているが、これには粒度等の課題であり、米粉製粉のきめ細かな技術が求められるが、現状のミキサーの性能では対応できない。

取組：求められている粒度の設定ができる新たなミキサーの導入で解決する。これにより、既存のミキサーに比べて性能向上が期待できる。加えて、コンタミ防止のため米粉専用ラインの整備をすることで生産性を担保させることができる。

(3) 販売・需要把握分野

課題：事前調査、情報から、グルテンフリー商品が求められることから小麦を主原料とする主力商品では、輸出が困難である。

取組：新たに、米を主原料とした新製品「米粉クラッカー」を開発し、米国グルテンフリー市場への参入を目指す。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

新製品開発スケジュール

①生産：米粉のテスト・検証

粒度（メッシュ）最適化、三重県産米、米粉の生産加工依頼

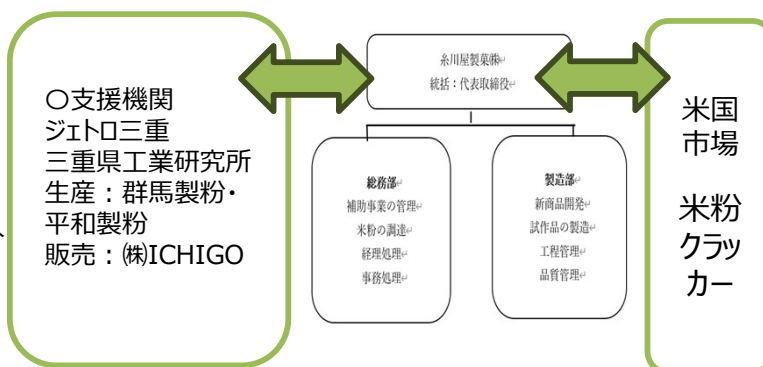
②加工：コメ粉使用新製品（米粉クラッカー）開発・官能検査

歯ごたえ、軽い食感、賞味期限確認

③販売：米国への輸出

製品保管場所の選定試作品を通販会社経由で米国市場参入

④米国市場での情報収集及び実証（右の図）



4. 輸出目標額

輸出国：米国 輸出製品名：米粉クラッカー

2025年度 目標： 輸出額900千円 輸出量300kg 生産量300kg